

# 「宮城の将来ビジョン」の構成と概要

## 第1章 宮城の将来ビジョン策定にあたって

### 第1節 策定の趣旨

平成12年に総合計画策定。しかし人口・経済等想定とは大きな乖離。また厳しい財政、地方分権、市町村合併など県政を取り巻く環境の大きな変化。さらにはグローバル化、情報化、環境問題など時代状況の大きな動き

的確に対応し、持続的に発展するため将来の宮城のあるべき姿や目標を県民と共有し、その実現に向けて県が優先的・重点的に取り組むべき施策を明らかにする「宮城の将来ビジョン」を策定

### 第2節 ビジョンの位置づけと構成

- ・ 県政運営の基本的な指針であり、施策や事業を進める上での中長期的目標
- ・ 県政の各分野における個別計画や地域計画を先導するもの
- ・ 4章で構成

### 第3節 計画期間・目標年度

- ・ H19～H28年度

### 第4節 推進方策

- ・ 3年を期間とする行動計画を別途定め、具体的取組やその成果の数値目標を明示
- ・ 行政評価システムにより事業の有効性や効率性などを検証しながら推進
- ・ 幅広い主体との連携・協働や情報共有のもとに、施策を効果的・効果的に展開

## 第2章 県政運営の理念と基本姿勢

### 第1節 県政運営の理念

- ・ 平成の大合併が行われ、本県の市町村は、ほぼ半数に
- ・ さらなる地方分権の推進や県などの広域自治体の新たなあり方を検討する動きが活発に
- ・ 県の人口は、平成17年の約236万人から、平成28年には230万人前後に減少する見込み
- ・ 生産年齢人口が減少し老年人口が著しく増加していく
- ・ 経済停滞が懸念され、社会保障費が増加する見込み
- ・ しっかりとした経済基盤を築き、創出された富の循環によって、福祉や教育、環境、社会資本整備などへの取組を着実に進めていく必要がある

「富県共創！ 活力とやすらぎの邦づくり」  
(目指す姿)

- ・ 県民一人ひとりが美しく安全な県土にはぐくまれ、産業経済の安定的な成長により、幸福を実感し、安心して暮らせる宮城
- ・ 生まれ育った人や住んでいる人が活躍できる機会にあふれ、国内からも国外からも人を引きつける元気な宮城

- ・ 経済基盤を確立し県経済の成長を図る「富県」を実現
- ・ 具体的には、「10年後の平成28年度には、県内総生産を10兆円以上にする」という県民と共有の目標を掲げ推進
- ・ 県民や企業の皆さんの力を最大限に発揮していただきながら果敢に挑戦

「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」

- ・ 生まれ育ち、学び、働き、憩う、という多様な生活の場面で、県民だれもがどの地域に住んでも安心して過ごせる地域社会の形成を目指す
- ・ 特に人づくりを中心として取組を推進

「安心と活力に満ちた地域社会づくり」

- ・ 将来にわたる持続的繁栄のため、経済成長と環境保全が両立する社会システムを構築
- ・ 特に宮城県沖地震に対しては、あらゆる主体が危機感を共有し、被害を最小限にする県土づくりを目指す

「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」

### 第2節 県政運営の基本姿勢

- ・ 様々な主体との連携・協働体制を構築し、民の力を最大限に生かす県政を運営
- ・ 高度で専門的な機能を生かしながら市町村の取組を支援
- ・ 行財政改革に取り組み、組織のスリム化を進めつつ、効果的、効率的な県政運営を推進
- ・ 一層の行政能力の向上を図り、広域自治体としての政策力、調整力を現場で発揮
- ・ 東北地方の発展をけん引する気概を持ち、広域的な視点に立つ県政を展開
- ・ 道州制など、地方自治の制度改革についても、主体的に取り組む

## 第3章 政策推進の基本方向

### 第1節 富県宮城の実現 ～ 県内総生産10兆円への挑戦～

- 1 育成・誘致による県内製造業の集積促進
- 2 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化
- 3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化
- 4 アジアに開かれた広域経済圏の形成
- 5 産業競争力の強化に向けた条件整備

### 第2節 安心と活力に満ちた地域社会づくり

- 1 子どもを生き育てやすい環境づくり
- 2 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり
- 3 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築
- 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実
- 5 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

### 第3節 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

- 1 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立
- 2 豊かな自然環境、生活環境の保全
- 3 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
- 4 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

## 第4章 宮城の未来をつくる33の取組

### 第1節 富県宮城の実現 ～ 県内総生産10兆円への挑戦～ (取組数12)

- 1 育成・誘致による県内製造業の集積促進
  - (1) 地域経済を力強けん引するものづくり産業(製造業)の振興
  - (2) 産学官の連携による高度技術産業の集積促進
  - (3) 豊かな農林水産資源と結びつけた食品製造業の振興
- 2 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化
  - (1) 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興
  - (2) 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現
- 3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化
  - (1) 競争力ある農林水産業への転換
  - (2) 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保
- 4 アジアに開かれた広域経済圏の形成
  - (1) 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進
  - (2) 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成
- 5 産業競争力の強化に向けた条件整備
  - (1) 産業活動の基礎となる人材の育成・確保
  - (2) 経営力の向上と経営基盤の強化
  - (3) 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

### 第2節 安心と活力に満ちた地域社会づくり (取組数14)

- 1 子どもを生き育てやすい環境づくり
  - (1) 次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり
  - (2) 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成
- 2 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり
  - (1) 着実な学力向上と希望する進路の実現
  - (2) 豊かな心と健やかな体の育成
  - (3) 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり
- 3 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築
  - (1) 多様な就業機会や就業環境の創出
  - (2) 安心できる地域医療の充実
  - (3) 生涯を豊かに暮らすための健康づくり
  - (4) 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり
  - (5) 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現
  - (6) 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興
- 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実
- 5 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり
  - (1) 安全で安心なまちづくり
  - (2) 外国人も活躍できる地域づくり

### 第3節 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり (取組数7)

- 1 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立
  - (1) 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献
  - (2) 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進
- 2 豊かな自然環境、生活環境の保全
  - (1) 豊かな自然環境、生活環境の保全
- 3 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
  - (1) 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
- 4 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり
  - (1) 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実
  - (2) 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進
  - (3) 地域ぐるみの防災体制の充実